

富士見中学校 学校運営プラン（中期学校運営計画）

計画期間

平成20年4月1日～平成24年3月31日

学校教育目標

生徒一人ひとりの「個性」「自立」「共生」「健康」を推進します。

- ・自分らしさを大切にし、自ら向上しようとする意欲を引き出します。 （個性）
- ・自ら創意・工夫して課題に取り組み、他と協力してよりよい生活を築こうとする力を高めます。 （自立）
- ・お互いに認め合い広い視野に立って行動する力を伸ばします。 （共生）
- ・生命を大切にし、心身の健康を考え実践する力を育てます。 （健康）

学校経営方針

- ・生徒一人ひとりを大切にし、心豊かで体力を伴った強い意志力をもった生徒の育成を推進する。
- ・自ら成長していく一人ひとりが、自らの生き方を切り拓いていくための主体的な「学び」を助ける「生き方の教育」を推進します。
- ・「ゆとり」「活力」「魅力」ある学校づくりを推進します。
- ・「まち」の活動や様々な人と連携をとり、開かれた学校・魅力ある学校づくりを目指しながら、「まちと共に歩む学校づくり」を推進します。

指導の重点

よりよく生きる為に、やればできるという自信と自己有用感や存在感をもって、自己表現・自己実現を図る生徒の育成を推進します。

- ・「知・徳・体」をバランスよく育むために、教育課程の編成と学習指導の充実に努め、健康づくりを推進します。
- ・小中一貫教育実践推進校として子どもの学びを推進します。
- ・基礎・基本の徹底と分かる授業を推進します。（少人数指導による取組）
- ・職業体験学習を推進します。
- ・多文化共生（パイオニアスクールよこはま）を推進します。
- ・健康づくり（心と身体）を推進します。
- ・地域に開かれた学校づくりを推進します。

改善の視点

取組目標

1 教育課程の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の徹底と分かる授業を推進します。 ◎自治意識を育てる特別活動、生徒会活動を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の工夫・改善を図ります。 ・少人数による指導を一層推進します。
2 小中一貫教育の推進	◎「集団生活における基本的な生活習慣の定着を目指した多文化共生を目指して」児童・生徒指導、多文化共生教育、保体・英語教育の3つの面から指導法を研究しテーマに基づいた取り組みを行います。
3 職業体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年での取組を段階的なねらいのもとに実施します。 ・職業体験学習を推進します。
4 多文化共生(PSY)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎PSYの取組の一環として言語学習に取り組みます。 ・国際教室の充実と多文化共生教育を推進します。
5 健康づくり(心と身体)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎生徒の生活の実態を調査し改善をはかります。 ◎学校生活の基盤である学級が学年経営方針のもと、その実をあげるよう集団生活における基本的な生活習慣の育成に努め学級経営の充実に図ります。 ◎生活の実態を調査し、健康教育を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・共感的理解にたった生徒指導の充実に図ります。
6 地域に開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域の教育力の導入と地域に学ぶ活動の展開をします。 ・地域の方を講師に招いた活動を推進します。
7 教育施設・環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりが安心して豊かに学校生活を送れるよう環境の整備に努めます。 ・築47年という至る所で老朽化した校舎・設備の補修を教育委員会に要請します。

人材育成の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもとの関わりを大事にする教職員を育成します。 ・カウンセリングマインドを大切に、子どもの目線に立って取り組む教職員を育成します。 ・教材研究を積極的に行い、授業を大事にする教職員を育成します。 ・部活動に積極的に取り組み、子どもの成就感を大事にする教職員を育成します。 ・地域の行事に積極的に参加し、地域の教育力を大切にすることを教職員を育成します。 ・各種研修に計画的に参加し、自らを高め、その成果を子どもに還元する教職員を育成します。
平成20年度の重点取組項目	<ul style="list-style-type: none"> ◎小中一貫教育の推進 ◎学級経営の充実 ◎職業体験学習の推進 ◎多文化共生(PSY)の推進 ◎健康づくり(心と身体)の推進 ◎地域に開かれた学校づくりの推進 ◎「まちと共に歩む読書づくり」の推進 ・教育課程の充実
これまでの取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的な活動の一環としての生徒会活動については、主体性を尊重し、自治意識を高める取り組みに重点的に取り組み、そのひとつとして規範意識を育成してきました。生徒総会の中で、19年度の基本方針として、「一人ひとりが自覚と責任を持ち、相手のことを考えて積極的に行動しよう」という方針のもと、本校の伝統である「小さな富士見に大きな誇り」の具現化として具現化目標である「服装からきちんとし、雰囲気の良い学校にしよう」という目標については、十分な成果をあげました。また、各委員会の取り組みも、生徒総会時の方針に基づいて活動し充実した1年間でした。 ・平成18年度の教育懇話会での意見を生かし、本校の実態から健康づくり(心と体の育成)については、校内で推進委員会を立ち上げ19年度から取り組みをはじめました。昨年度は、PTA・教職員研修会を食育教育の面から行いました。また、生徒の生活実態調査については、現在分析中です。 ・PSYの取り組みである「多文化共生」については、留学生の話を聞く会や母語教室、言語学習、調べ学習における友達の国の様子を知ろう、等に取り組み充実した取り組みでした。 ・まちと共に歩む学校づくりでは、ペタンク大会、職業体験学習、地域の人材を生かした教育力の向上に積極的な取り組みができました。 ・基礎・基本の徹底と分かる授業の推進については、少人数による指導を推進し、今後も継続して取り組んでまいります。
まちと共に歩む学校づくり懇話会の意見等	<p>昨年3回実施した「まちと共に歩む学校づくり懇話会」では、次のようなご意見を頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全な町づくり」の一環として毎月27日に行っているパトロールでは、先生達も参加してくれている。皆さんにも紹介したい。 ・体育館の改修が平成20年8月から行われることになり、少し安心である。 ・小学校と連携した小中一貫教育の取り組みについて、小学校時代からの望ましい生活習慣の育成、基礎学力の定着、思いやりの心の育成など、今後さらに進めて欲しい。 ・外国籍の人達が増えている。生活文化の違いがあるが学校ではどうか。 ・生徒総会の様子について知りたい。 ・地域において、ブランド品の自転車を解体していい所のみ(サドル、買い物カゴ)分解して盗まれるなどの被害がある。バイクについても同じことが言える。 ・避難経路が不足しているので安全・安心の観点から避難経路の確保を教育委員会に要請してきたが平成20年度に工事着工となり、よかった。 ・学校評価については、今年度の取組みの結果が地域をはじめ、保護者の方々にもおおむね良好という結果でした。

※1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。

※2 ◎:重点項目